

## 教育長室からのお知らせ No. 82(令和 4 年 5 月)



教育長 田中 康寛

5 月になりました。若葉の緑がすがすがしく感じられ、爽やかな風が気持ちを晴れやかにしてくれます。

さて、新年度が始まって 1 か月が経ちます。子どもたちは、新しい環境の中で緊張しながら始まった学校生活にもようやく慣れてくる一方、疲れが徐々に始まる時期でもあるかと思えます。今月は、運動会や体育祭、修学旅行を計画している学校があります。子どもたちが主体的に、生き生きと活動できるようにするためには、子どもたちの心理的・身体的な安全・安心を確保していく必要があります。学校では、子どもたちの不安な気持ちや困りごとに丁寧に寄り添ってまいります。

「第 3 次学校安全の推進に関する計画」が令和 4 年 3 月に閣議決定されました。目指す姿は、子どもたちが自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身につけることです。子どもが自らの命を守り抜けるようにするためには、安全についても子どもの主体的に行動する態度の育成が重要となります。自分の頭で考えて判断する、行動するといった力は、想定内の訓練だけでは育むことが難しいかもしれません。計画には、地域の多様な主体と密接に連携・協働し、子どもの視点を加えた安全対策の推進が方向性として掲げられています。各園・学校ではコミュニティ・スクールという強みを生かし、より実践的な取組を地域とともに進めてまいります。

園・学校は教職員の職場であり、安全・安心な学校づくりは教職員にとっても重要です。激しく変化し続ける環境において、質の高い教育を提供していくためには、各園・学校がチームとして効果的に機能し、教職員一人一人が力を十分に発揮できるようにしていくことが必要となります。Google が立ち上げたプロジェクトの調査・分析によると、効果的なチームに最も重要なことは心理的安全性であり、心理的安全性が高いチームのメンバーは離職率が低いという結果が出たそうです。今年度の新規採用教職員数は昨年度の倍にのびります。コロナ禍では、活動が制限され、積極的に新しい人間関係を築くことが難しいと思います。中堅やベテランの教職員が、自園・自校の教職員の信頼関係と、誰もが非難や拒絶されることなく、安心して自分の意見や考えを言い合える職場環境を率先してつくっていきけるよう努めてまいります。

今年度第 1 回目の学校運営協議会をこれから開催する園・学校もあるかと思えます。コロナ禍における教育活動等については、学校運営協議会の機会を捉えるなど、地域や保護者の方々と十分に認識を共有し、進めてまいりますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。